京都市
CITY OF KYOTO

＜報道発表資料＞

令和８年１１月１８日
京都市総合企画局国際都市共創推進室国際都市共創担当

第２０回世界歴史都市会議の開催結果

京都市は、世界歴史都市連盟の会長都市及び事務局を務めており、１１月１０日から１２日に姫路市で開催された「第２０回世界歴史都市会議」に、松井市長及び下村議長をはじめとする代表団を派遣しました。

世界歴史都市会議の日本での開催は、第１２回会議（２０１０年に奈良市で開催）以来、１６年ぶりとなり、参加者が「持続可能で強靭な未来に向けた文化遺産の保存と活用」をテーマに活発な議論や意見交換等を行いました。



【第２０回世界歴史都市会議の開催結果】

⑴　開会式

会議の開会に当たり、世界歴史都市連盟の会長を務める松井市長が挨拶を行い、歴史都市の使命は、文化遺産の保存や景観保全にとどまらず、多様な文化や価値観を交差させて新しい文化を生み出す「ぬか床」のような場所であることであり、気候変動や紛争などの共通課題に対し、歴史都市間の対話により、未来を切り拓くことが重要であると述べました。また、開催都市・姫路市の清元秀泰市長から主催者挨拶、文部科学省の矢野和彦事務次官より来賓挨拶が行われました。



＜松井市長挨拶の様子＞



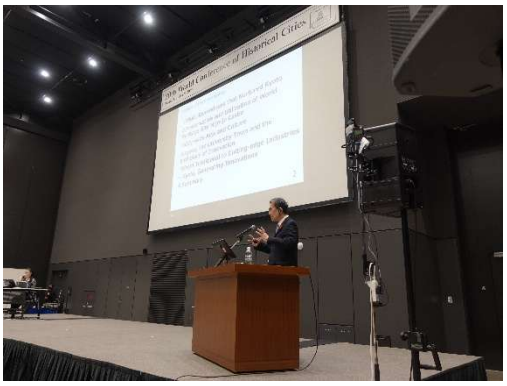
＜清元市長挨拶の様子＞

⑵　各種セッション

メインテーマと各セッションのテーマに基づき、各都市の代表者が政策等を発表し、意見交換を行いました。

松井市長は会議１日目のラウンドテーブルにおいて、「歴史都市が紡ぐ未来～世界平和にむけた国際交流・文化融合の重要性～」と題して、京都が国際的な交流の中で文化を育んできた経緯や歴史都市の使命、京都市が今後目指すまちづくりについて発表しました。

会議２日目に行われた市長セッションでは、「文化遺産の保存と活用の好循環の構築」をテーマとした議論を通じて、歴史都市が直面する課題解決への糸口を探りました。



＜松井市長発表の様子＞



＜市長セッションの様子＞

⑶　ユースプログラム（絵画展示、英語スピーチコンテスト）

絵画展示では、世界歴史都市連盟加盟都市の子どもたちが「わたしのまちの宝物」をテーマに描いた絵画作品計５３点が、会議開催期間中、会場に展示されました。京都市からは、市内在住または通学の小学生が描いた代表作品１３点を出展しました。

英語スピーチコンテストでは、最優秀賞及び優秀賞の表彰式が行われ、ライブスピーチやスピーチ動画のダイジェストが放映されました。全２０点のスピーチのうち、京都市から参加された上掛美鈴さん（中学２年生）が優秀賞に選出され、賞状と記念品が贈られました。



＜絵画展の様子＞



＜表彰式の様子＞

⑷　２０２６年度世界歴史都市連盟理事会・総会

会長都市である京都市をはじめ、理事都市の出席のもと、理事会が開かれ、ジャコヴァ市（コソボ）、金海市（韓国）、高霊郡（韓国）の３つの都市の新規加盟が承認され、加盟都市数は１４０都市（６６箇国・地域）となりました。

総会では、理事会での決定事項等が報告されるとともに、規約改正及び役員改選が行われ、京都市が会長に、西安市（中国）、コンヤ市（トルコ）が副会長に、慶州市（韓国）、リュブリャナ市（スロベニア）、バート・イシュル市（オーストリア）、シーラーズ市（イラン）が理事に再選され、鎌倉市が新しく監事として選出されました。

また、２０２７年にイスファハン市（イラン）での開催が予定されていた第２１回世界歴史都市会議については、延期となることが発表されました。次回の開催は２０２９年とし、開催都市については、改めて選出することとなりました。



＜理事会の様子＞



＜総会の様子＞

⑸　閉会式

今回の会議の成果として「姫路宣言」（別紙）が採択され、会議に参加した各都市代表者による署名が行われました。

松井市長は、採択された姫路宣言に基づき、歴史都市の使命は伝統と革新を融合し、新しい技術やアイデアで都市を強靭かつ包摂的にすることであり、それぞれの都市が持つ独自の価値を尊重し、自国の歴史を重んじることで他者への敬意を育み、平和の礎を築いていく決意を新たにしました。



＜宣言文への署名の様子＞



＜宣言採択の様子＞

【会議参加者による京都市訪問結果】

世界歴史都市会議では、プログラムの一環としてエクスカーションを実施しています。第２０回会議においては、閉会式後、参加希望者を対象に姫路市、奈良市、京都市それぞれへのエクスカーションを実施しました。

京都市では、１１月１２日から１３日にかけて、市会議場の見学や、元離宮二条城の保存と修繕及び活用の取組の視察を行うとともに、御室仁和寺や鹿苑寺（金閣寺）を訪れました。

また、京都市立日吉ケ丘高校の生徒が、京都駅周辺で、お土産の提案などを行いました。



＜市会議場見学の様子＞



＜視察時の様子＞

＜世界歴史都市連盟について＞

世界の歴史都市が直面している「保存と開発」、「継承と再生」などの課題解決を目的とし、歴史都市のさらなる発展のため、平成６年４月に設立された世界的な自治体組織。設立以来、京都市が事務局及び会長都市を務め、日常的な情報交換に加えて、原則２年に一度世界歴史都市会議を開催。令和８年１１月時点で、世界の６６箇国・地域から１４０都市が加盟。

世界歴史都市連盟ロゴ

＜お問合せ先＞

京都市総合企画局国際都市共創推進室国際都市共創担当
電話：０７５－２２２－３０７２